



講演会

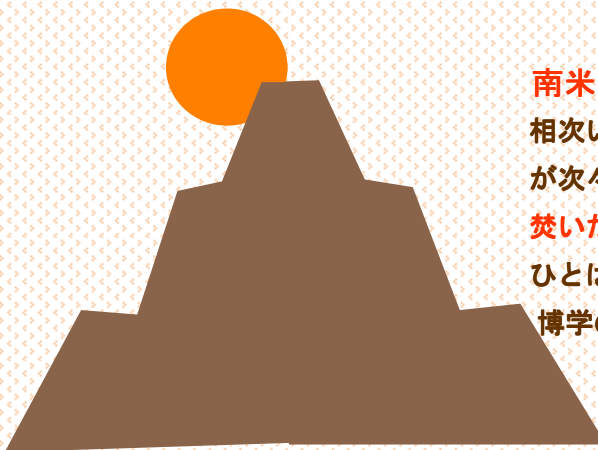
# 南米より愛をこめて

ペルーのピラミッド  
パタゴニアの大自然のお話

第一部 18:30~19:30

講演者 阪根 博

## 「ピラミッドと祈りの場」 - ひととはなぜ祈るのか -



南米ペルーではこれまでのアンデス文明の歴史を塗りかえる大発見が相次いでいる。4500~5000年前のものと推定されるピラミッド群が次々と発掘されているのだ。これらのピラミッドの最上部には必ず火を焚いた跡が見られ、古代より太陽神に祈りを捧げていたと考えられている。ひととはなぜ祈るのか？祈りの先には何があるのか？  
博学の阪根博が語ります。

### プロフィール

1948年神奈川県生まれ。ペルーのリマ在住。武蔵野美術大学客員教授  
リマにある天野博物館の事務局長を務め、発掘作業・土器・織物の収集や研究に備わる  
ほか、ペルーの民間外交官として政府要人、マスコミ取材などのアテンドを行う。  
年に1~2ヶ月は日本にて講演を行い、広い分野から文化向上の啓蒙活動を行っている。

第二部 19:40~20:40

講演者 写真家 野村 哲也

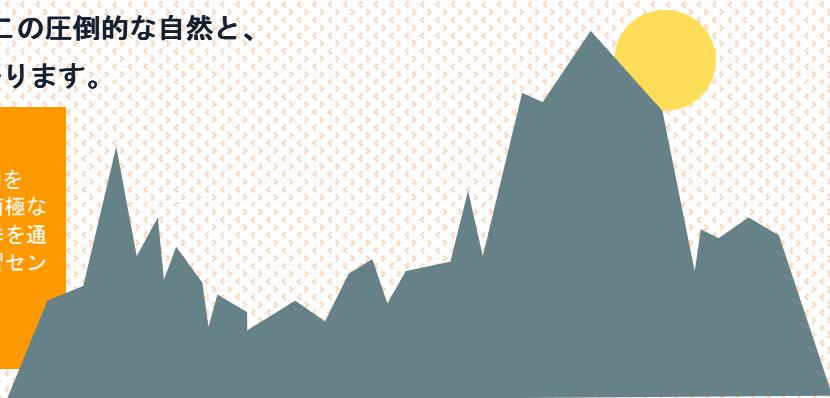
## 「世界一美しい森から」 - 南米パタゴニアで暮らす -

写真家という職業に就き、80ヶ国の自然を撮影させてもらう中で、僕を魅了し続けた大地、それがパタゴニアだ。

南米チリ、アルゼンチン両国にまたがる南緯40度以南のこの大地。北部には富士山のような鐘状火山や多くの湖が点在し、南部には天を突き破らんばかりの尖がった岩峰や真っ青な氷河が立ちはだかる。パタゴニアに通うこと13年、移住して2年。この圧倒的な自然と、そこに生きる人々を通して、いのちの輝きを語ります。

### プロフィール

1974年岐阜県生まれ。高校時代より山岳地帯や野生動物を撮り始め“地球の息吹”をテーマにアラスカ・アンデス・南極などに被写体を求める。2007年より南米チリに住み、四季を通してパタゴニアの自然を撮影。国内では幼稚園から生涯学習センターまで幅広い年齢層に講演活動を続けている。  
著書「ペンギンがくれた贈りもの」「PATAGONIA」(風媒社)  
「たくさんのおふしぎ 僕のデナリ国立公園ガイド」(福音館)



2010年 5月28日(金) 開場 18:00 開演 18:30

会場 : 札幌エルプラザ (L・PLAZA) 4階 大研修室  
札幌市北区北8条西3丁目 / JR札幌駅北口徒歩5分

入場料 : 大人 前売り(予約) 2000円 当日 2500円/小学生以下 無料

予約方法 : メール yk1953@rouge.plala.or.jp もしくは

FAX 011-563-5636 までお名前・人数をお知らせください

(担当: 高橋)

